

「浅草ものづくり工房が主催」

CAD/CAM講座が活況

浅草ものづくり工房が若手の独立・起業支援を目指して新たな提案を。3月3日に台東区立産業研修センターで「フツ



トウェア&レザーグッズ用 CAD/CAM最新テクノロジ」特別セミナーを初開催した。会場では①先端産

業による欧米ものづくり最新事情(情報提供)レクタラ・ジャパン、日本機材



貿易)、②CAD/CAMの最新テクノロジー(レクタラジャパン・藤森康夫ファッション&レザーマーケット課長)、③足型スキャナーとCADとのソリューション事情(協力)ドリーム・ジービー)らが講演を実施。

クラークスなどヨーロッパのトップ靴メーカーがCADを用い多品種小ロット、そして付加価値力の高い製品づくりをいかに手掛けてい

ディレクターの城一氏が挨拶



自動裁断機の高生産性にも注視が



るか、靴づくりの最新ITテクノロジの粋が目前に。会場で行われた足型スキャナーを使用したCAD技術により自分の足のデータを取り込んでモニター上

に分析描画された足型のデータ、デジタル化による靴の製造プロセスに興味深く聴講者たちが見入る風景が見られた。今回ドリーム・ジービー社が会場で

デモを実施した世界最小・最軽量のレーザー型レーザー・スキャナーは高齢者向けケア・アシユーズの製品化で個人個人の足に合う靴の製造サービスです。すでに業界でも潜在的関心を喚起している機材。また日本機材貿易は高速ツインヘッド・コンベア式自動裁断機「CM44CN+」の設置面積がコンパクトで抜き型のコストが大幅削減でき、新型高速ツインヘッドで創出される高生産性、といった多彩な性能を紹介。

今回が第1回目、初の試みとなった本セミナーだが、定員の30人を上回る来場を集め、若手業界人のモノづくりを最新の靴づくりテクノロジと融合させることでより自分の目標とする表現力に近づきたい、理想のモノづくりを果たしたいという意欲が実現へと結びつく契機を予見させた。